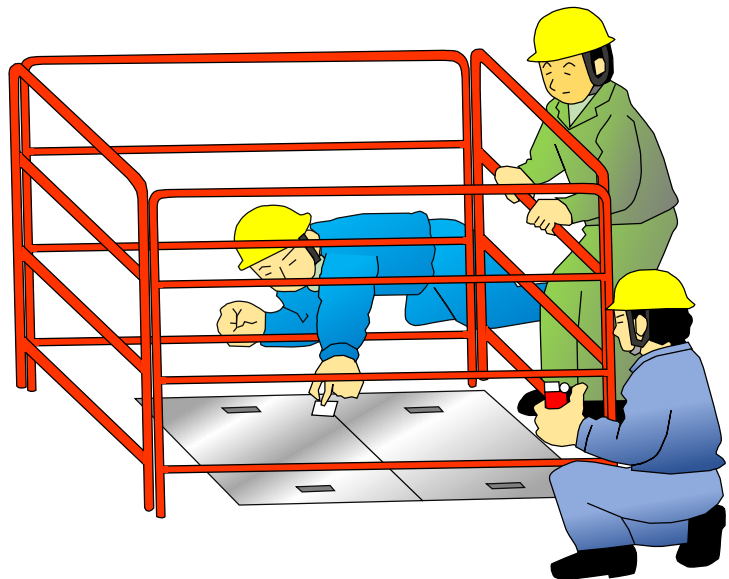


# 汚水を利用したメタンガス発生装置の試運転中、 ライターがメタンガスに引火し火傷



## 【発生場所】

ビール工場の汚水をボイラー用燃料に利用してメタンガスを発生させる装置。

## 【被災原因】

ビール工場内の汚水からメタンガスを発生・回収するために、好気処理から嫌気処理へ変更工事後、設備引渡の試運転が行われていた。硫化水素の大気放出基準を超えている脱臭装置から硫化水素を減らすため、脱臭装置につながっているPH調整層を負圧にした。負圧になっていることを確認するためにライターを点検口に近づけたところ、PH調整層で発生したメタンガスと硫化水素に引火し、点検口から炎が噴出。

## 【被災状況】

点検口付近にいた作業員が火傷を負った。

## 【対策】からの抜粋

- 1 設備の危険性を予測し、その危険性への対応方法等を盛り込んだ試運転計画書を作成すること ～後略～
- 2 関係労働者に対し安全衛生教育等を徹底すること  
試運転に携わる関係作業員に対し、メタンガスや硫化水素の危険有害性、設備の安全な取扱い方法等について、事前に教育を行うとともに、可燃性ガスが発生する箇所への立ち入りの際は、火気厳禁の措置を徹底する。～後略～



～理研計器からのご提案～

リスクアセスメント実施の結果、ガスの発生が予見される環境や作業がある場合、リスク低減措置に加え、ガス検知警報器で安全確認をしながら作業されることを、お勧めいたします。